

1 学校名（ 岡山県立邑久高等学校 ）

2 総合的な探究の時間の名称（ 課題研究 ）

※総合的な探究の時間の実践例ではない場合は、教科・科目名等を記入してください。

3 実施学年（ 3年 ）

4 事例の概要（いずれかに（複数でも可）に○をしたのち、その概要を記入してください。）

1 課題の設定	○	5 まとめ・表現	○
2 情報の収集	○	評価、進路指導に関するもの	
3 整理・分析	○	その他（ ）	
4 課題解決に向けた実践	○		

・邑久高校と瀬戸内市の魅力向上、活性化する活動に主体的に参画できる授業を展開した。市内外から親子を募集した観光ツアーや販売活動を実施することで、その様子が新聞、テレビなどで取り上げられ、県内外に広く報道されることで、瀬戸内市をアピールし、邑久高校の魅力も発信することができた。

5 ねらい

・瀬戸内市の魅力や課題は何か考えながら学び、邑久高校と地域社会の方々が一体となって授業を展開することで、生徒が母校や瀬戸内市に愛着を持つことをねらいとした。  
 ・主体的、協働的に学習することでコミュニケーション能力の向上をねらうとともに、物事を探究する楽しさや、助け合うことの重要性を学ぶことにも重点を置いた。

6 工夫点

・瀬戸内市の観光や特産物を理解するには、生徒自身が市内を巡ったり、実際に体験したりすることが必要と考え、可能な限り体験、実習を取り入れた。  
 ・授業以外でも瀬戸内市の協力で京都大学の学生による、市内の方へのインタビューに同行する機会を設けることで、より深く瀬戸内市の課題や人々の思いを学ぶことができた。

7 苦労した点（課題をどのように解決したか）

・文化祭での販売活動において、商品とその販売方法にどのような課題があるか考えた。その後の観光ツアーでは、小中学生とその保護者に対して、瀬戸内市の魅力を伝える活動を計画し実施した。すべてが本校にとって初めての経験でもあり、年間を通して地域社会の方々と打合せを行うことに膨大な時間を必要とした。

